

# 令和4年度「地域教育プロデューサー配置支援事業」 事業説明資料

(令和4年6月3日時点)

## 1 「地域教育プロデューサー配置支援事業」とは

市町が地域おこし協力隊制度の活用により、地域教育プロデューサー及び地域教育協力隊を配置する。県が育成・養成、ネットワーク構築、サポートを3年間(令和3年度～令和5年度)実施し、地域教育プロデューサー等の配置支援を図る。

## 2 本事業に取り組む背景、目的

### (1) 本事業に取り組む背景

#### ① 国(中央教育審議会)の地域学校協働答申(H27.12.21)

今なぜ、学校と地域の連携・協働が必要なのか。

- 1 これからの時代を生き抜く力の育成 → 他者と協働しながら課題を解決する力の育成
- 2 地域に信頼される学校づくり → 学校が抱える課題の複雑化・困難化の解決
- 3 地域住民の主体的な意識への転換 → 子供の教育に対する責任の分担
- 4 地域における社会的な教育基盤の構築 → 地域の教育力の向上
- 5 社会全体で子供たちを守り育てる環境整備 → 安全・安心で子育てしやすい地域づくり

誰かが何とかしてくれる、のではなく、自分たちが「**当事者**」として、自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。**子どもたちのために学校を良くしたい、元気な地域を創りたい**、そんな「志」が集まる学校、地域が創られ、そこから、子供たちが自己実現や地域貢献など、志を果たしていける未来こそ、これからの未来の姿である。

#### ② 第六次愛媛県長期計画「愛媛の未来づくりプラン」第3期アクションプログラム編

##### ○基本政策Ⅲ

輝く愛顔あふれる「えひめ」づくり～未来を拓く豊かで多様な『人財』を“育む”～

##### 政策2 未来を拓く子どもたちの育成

##### 39 魅力ある教育環境の整備

##### 40 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てる教育の推進

##### 41 特別支援教育の充実

##### 42 教職員の資質・能力の向上



#### ③ 愛媛県教育振興に関する大綱

##### 1 学校・家庭・地域が連携した教育の推進

- 2 安全・安心で充実した教育環境の整備
- 3 未来を拓く子どもたちの育成
- 4 特別支援教育の充実
- 5 人権・同和教育の推進と児童生徒の健全育成
- 6 生涯学習の推進とスポーツ・文化の振興

学校はもとより家庭、地域社会の多様な主体が連携協力して、全ての子どもたちが夢の実現にチャレンジできるような、就学環境や就学機会の充実、開かれた学校づくりを進め、魅力ある教育環境を整備していく必要があります。

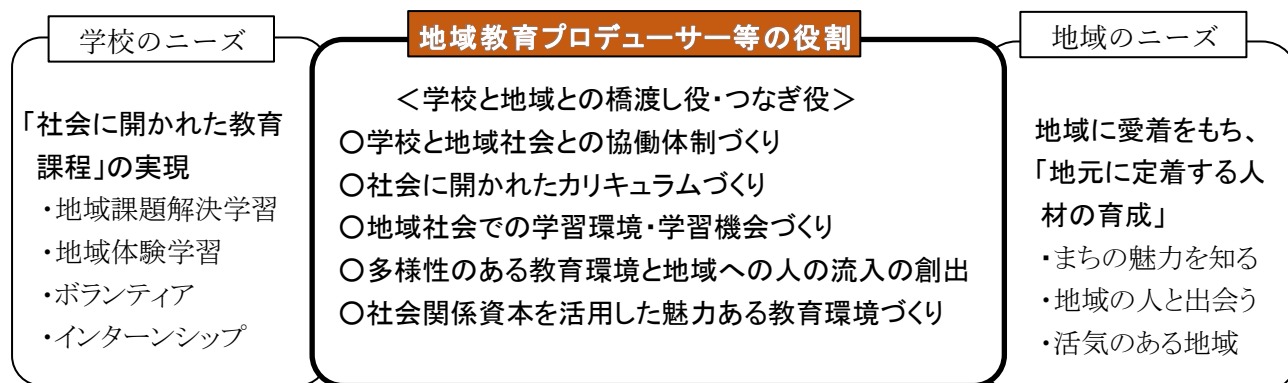
#### ④ 令和4年度愛媛県教育基本方針・重点施策

##### 1 社会総がかりで取り組む教育の推進

- 2 安全・安心で充実した教育環境の整備
- 3 確かな学力を育てる教育の推進と未来を担う人材の育成
- 4 豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進
- 5 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化
- 6 特別支援教育の充実
- 7 互いの人権を尊重する教育の推進と児童生徒の健全育成
- 8 文化財の保存・活用の推進

家庭や地域の教育力の向上を図るとともに、学校の創意工夫などにより、地域に愛され、信頼される学校づくりに努めるなど、学校、家庭、地域、企業等の多様な主体が連携・協働して、未来を担う子どもたちの健やかな成長を支援します。

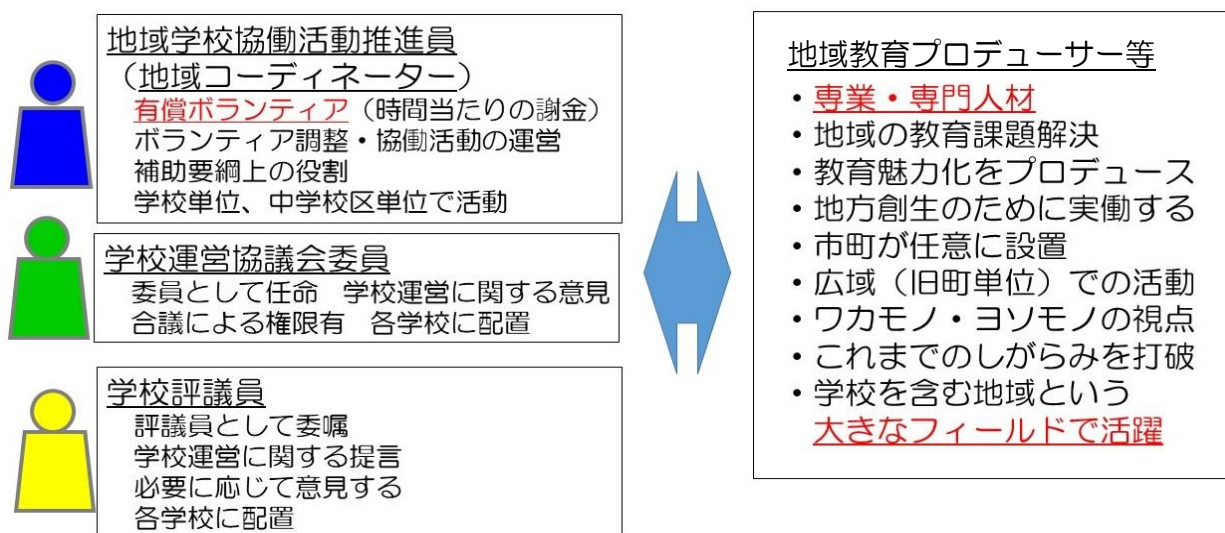
## (2) 本事業のねらい



「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す学校と、「地元」に定着する人材の育成を求める地域の橋渡し役・つなぎ役として、市町が「地域教育プロデューサー」等を配置する事業の支援を行い、「学校を核とした地域づくり」「教育の魅力化による地方創生」「地元に残る人材の育成」を推進し、教育の魅力化による地方創生の取組を県が支援する。

## 3 「地域教育プロデューサー」等の特性・役割・業務内容

### (1) 地域教育プロデューサー等の特性



### (2) 地域教育プロデューサー等の役割と業務内容 (例)

各市町、各地域に配置される地域教育プロデューサー等は、地域の教育課題に応じた業務にあたることから、業務内容は一律ではなく、多様であることを前提に、業務例を参考に列挙する。

	大分類	小分類	業務内容(例)
1	学校と地域社会 (地域住民、行政、企業、NPO等)との協働体制づくり	協働体制を構築するための組織づくり、運営、評価	既存の地域組織(守り育てる協議会、学校運営協議会、学校評議員会、公民館運営審議会等)への参画、新たな地域コンソーシアム構築・運営・関係者との調整など
		ビジョンや目標の見える化・事業計画の策定支援・遂行支援	アンケート調査やデータ分析支援、地域のビジョンや目標・事業計画の策定支援、ワークショップや熟議の企画・運営、地域における学びの場づくりなど
		地域人材の発掘や教育資源の収集・整理	地域住民の要望や意見の収集・分析、地域教育資源や課題の把握・分析、人材バンクの構築、企業・団体・NPO等教育支援データバンク構築、産業界と地域の架け橋など
2	社会に開かれたカリキュラムづくり	学校や地域の特色を生かした教育課程やカリキュラム策定支援	教育課程における探究型学習の計画支援、郷土学・ふるさと学・地域学の構築支援、外国語教育等に特化した教育プログラム推進支援、学校との連携による特色あるカリキュラム策定など

2	社会に開かれたカリキュラムづくり	地域内外の企業や関係機関との連携した事業の推進・支援	えひめジョブチャレンジU-15協力企業との調整、キャリア教育プログラム作成、インターンシップや商品開発等における学校と企業の連携・調整など
		授業や特別活動、部活動等の課題解決型学習の実施支援	総合的な学習の時間・探究型学習の実施支援、郷土学・ふるさと学・地域学の実施支援、特別活動や部活動における外部人材との連携・調整など
3	地域社会での学習環境・学習機会づくり	放課後や休日等の学びの場、公営塾・未来塾設置等の環境整備	放課後の学習・体験活動運営、休日や長期休業中の学習・体験活動企画・運営、公営塾や未来塾設置・運営、地域人材の発掘・調整・コーディネート、地域学校協働活動推進員など
		児童生徒の地域ボランティア等活躍機会の創出	中高生の地域貢献活動のプロデュース、児童生徒の地域ボランティアの募集・参加調整、児童生徒の地域活動の伴走、公民館活動における中高生の活躍機会創出など
		地域における児童生徒と地域住民の交流の場づくり	伝統芸能継承活動支援、地場産業・特色のある産業の体験の場づくり、大人と子どもがともに学ぶプログラム創出など
4	多様性のある教育環境と地域への人の流入の創出	地域外から児童生徒を呼び込む制度の設計・運営支援	児童生徒募集方針の策定支援、説明会や広報などの募集戦略の設計・実施、全国募集を行う高等学校の支援、入学者と地域を結ぶコーディネート、外国との交流の場づくりなど
		地域外からの児童生徒等受け入れの環境整備	里親さがしや寮運営支援、寄宿舎生・寮生の指導、自治体移住支援部局や移住支援団体との連携など
		高校生、卒業生と学校や地域をつなぐ機会の設計・運営	中学校の卒業生・高校の卒業生と地域をつなぐプログラム等の設計・運営、卒業生ネットワークの構築など
5	社会関係資本を活用した魅力ある教育環境づくり	既存の団体や組織の活用・再編による教育環境整備	公民館・自治会・まちづくり組織・愛護班・PTA・青少年育成団体等の団体の教育活動への活用やプラットフォーム構築など
		外部人材の確保・活用の促進	大学生の活用、外部ボランティアの活用、外部団体やNPO・専門家との連携による人材活用、カタリバ事業(子どもと大人の出会い創出事業)など
		外部機関と連携した新たな教育活動整備	大学や民間企業等と連携した新規事業の設計・運営、各種検定試験(漢検、英検、ICT検定等)実施、イングリッシュキャンプ企画・運営、特別講座の開設など

### (3) 愛媛県各市町地域教育プロデューサー・地域教育協力隊の活動内容（令和3年度登録）

市町名	活動内容
松野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内及び近隣小中学校への出前授業</li> <li>・電子工作・プログラミング教室開催</li> <li>・愛媛大学と連携して農作業ロボットを開発</li> <li>・俳句を通じた地域理解への取組及び国語教育</li> </ul>
東温市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東温市地域学校協働活動推進員として、学校・家庭・地域連携推進事業に参加及び協力</li> </ul>
西予市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内高校の魅力化、コーディネート業務（地域協働）</li> <li>・地域教育の推進</li> <li>・学校、地域の連携推進・放課後子ども教室講師</li> <li>・市内県立高校公営塾の企画・運営</li> <li>・児童・生徒の課外学習支援・伴走</li> <li>・児童及び生徒・学校・地域のニーズを踏まえた教育に関するプログラムの開発支援、実施</li> <li>・総合学習や探究活動の支援・講師マッチング</li> </ul>
内子町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立高校の教育魅力化推進</li> <li>・内子町ICT教育支援全般</li> </ul>

(4) 教育に関するミッションを主にしている地域おこし協力隊の活用の事例（他道府県）

- ・子育て基盤整備推進員
- ・生涯学習サポート隊員
- ・高校生つながり発展事業推進
- ・国際交流事業の授業サポート
- ・小中学校の授業支援や個別指導
- ・高校魅力化プロジェクト推進員
- ・美術館の運営と図工教育の支援
- ・山村留学センターにおける生活指導
- ・コミュニティ・スクール運営業務
- ・図書館主催事業への協力
- ・高校生のキャリア相談員
- ・コミュニティ・スクールへの提言
- ・中学校国語授業支援
- ・ふるさとキャリア教育プロデューサー
- ・図書を通じた言語力の向上
- ・被災地における仮設団地での夜間学習会
- ・町立図書室の図書貸し出しサービス
- ・学校魅力化推進員
- ・公設塾講師及び運営員
- ・公民館を拠点とした社会教育とまちづくり
- ・高校教育活動の広報活動
- ・公営塾の運営
- ・E S D推進員
- ・自然体験教育プログラム
- ・高校、短大と地域をつなぐコーディネーター
- ・生涯学習講座の講師
- ・インターン、ボランティアコーディネーター
- ・探求の時間カリキュラム開発
- ・プログラミング教育やICT教育の推進員
- ・スポーツの指導員
- ・学習支援を通じた教育振興活動
- ・学校図書、町立図書館の運営
- ・コミュニティ・スクールの立ち上げ支援

**4 本事業の役割分担と事業内容**

(1) 事業主体ごとの役割分担

各市町・市町教育委員会	愛媛県教育委員会	
	社会教育課	各教育事務所地域教育推進課 (社会教育グループ)
◎特別交付税措置による予算化 ◎住居、活動拠点の確保 空き家等の活用、活動拠点設置 ◎会計年度任用職員 市町職員として委嘱 ◎各種研修への職員の派遣 ◎定着促進事業 起業支援・指導・伴走	◎事業計画・予算・実施要領策定 各事業にかかる計画・予算等 ◎県地域政策課との連携 地域おこし協力隊導入・定着促進事業等 ◎配置促進啓発事業の実施 説明会実施、手引き・リーフレット作成 ◎地域教育プロデューサー等ステップアップ研修の実施 年3回の研修会の企画・運営 ◎定着促進事業	◎市町、市町教委との連携 市町の実態把握、支援 ◎配置促進啓発事業 説明会実施協力、手引き・リーフレット作成補助 ◎地域教育プロデューサー等活動支援事業 年3回程度の情報交換会の企画・運営 ◎定着促進事業

(2) 事業内容

① 配置促進啓発事業

- 市町等対象事業説明会（年1回）
  - ・ 地域教育プロデューサー配置促進事業にかかる説明会を行う。
  - ・ 事業に関する相談・支援をする。
- 地域教育プロデューサー等活動の手引き・リーフレット作成
- 地域おこし協力隊募集説明会（県地域政策課との連携）
  - ・ オンライン説明会において、教育分野の隊員を募集する。（募集市町参加）
  - ・ 県HP、えひめ移住ネットへの掲載、JOIN（移住・交流推進機構）のHPに掲載する。
  - ・ 首都圏・近畿圏大学及び県人会へのチラシ送付、東京・大阪事務所と連携したチラシ配布をする。等

② 地域教育プロデューサー等活動支援・ステップアップ研修事業

- 地域教育プロデューサー等ステップアップ研修会（年3回）
  - ・ 活動の拡充や連携・ネットワーク形成を図り、活動の定着や横展開、さらなる充実を図る。

- ・ 地域教育プロデューサー、地域教育協力隊、地域おこし協力隊隊員、市町職員、学校関係者、団体、企業、NPO、地域教育関係者等が、県下全域から一堂に会して、他県の先進事例による研修やワークショップによる研修を行う。
- ・ ビジョン策定や評価、起業に関する情報交換を行う。 等
- 定期情報交換会（年3回程度）
  - ・ 活動が円滑に進むよう、現地において活動や運営の支援を実施する。
  - ・ 東・中・南予管内ごとに地域教育プロデューサー、地域教育協力隊が集まり、情報交換を実施する。
  - ・ 実施主体は、各教育事務所地域教育推進課社会教育グループとなる。
  - ・ 会場は、地域教育プロデューサー等が配置されている市町を巡回するなどして行う。

## 5 「地域教育プロデューサー」等任期後の定着支援

### (1) 教育分野で起業・就業している事例の紹介

- (例1) 一般社団法人
 

市全域をフィールドとし、地域教育プログラムを展開する法人

  - ・ 中高生と地元の大人の交流と活動のイベント
  - ・ 地域学校協働活動のコーディネート
  - ・ 探求学習の支援、郷土教育に関する教材開発
  - ・ 空き家を利用した中高生も利用できるコミュニティスペースの運営・管理
  - ・ 行政・企業対象の人づくり事業
  - ・ 市の委託授業受託
  - ・ 公共施設の指定管理者 等
- (例2) 株式会社
 

地域と産業と学校教育を近づけるキャリア教育を提供する法人

  - ・ 教育オンラインサロン探求学の企画・運営
  - ・ 教育旅行・研修旅行プログラム開発
  - ・ 修学旅行受け入れ実施
  - ・ 総合的な学習の時間のキャリア教育プログラム
  - ・ 中高生向けの起業家教育プログラム
  - ・ 大学生インターンシップの受け入れ
- (例3) 株式会社
 

地域課題解決のための事業づくりと人材育成を生業にした法人を立ち上げ、町と共同でプロジェクト実施

  - ・ 子どものいる家庭のサポートビジネス
  - ・ 教育分野のICT支援
  - ・ プログラミング学習の教材開発と授業実施
  - ・ 21世紀型地域教育ビジネスの展開
  - ・ 未来づくり起業塾の経営
  - ・ 中高生向け地域づくりプロジェクト
- (例4) NPO法人
 

民間教育機関がない町で、民営の塾を立ち上げ、小中学生対象の学習を実施

  - ・ 教科学習の指導
  - ・ 探求学習（学ぶ内容から成果実施まで個別に対応）
  - ・ ICT機器と地域人材を活用した地域学習
  - ・ 長期休業中の学習支援
  - ・ 自習スペースの運営
- (例5) NPO法人
 

地元の子どもの学びを保障するために、地域のヒト・モノ・コトを結びつけ、地域活性化を図る法人

  - ・ 社会教育・生涯学習事業の受託
  - ・ 地域未来塾の運営受託

- ・放課後子ども教室事業の運営受託
- ・中高生のキャリア教育プログラム
- ・県立高校の公営塾支援
- ・子どもの体験活動プログラム実施

○ (例6) 一般社団法人

県全域をカバーし、教育と社会と地域にイノベーションを起こす法人

- ・教育による地域創生のモデル事業づくり
- ・持続可能な社会のつくり手を育む教育システムづくり
- ・教育魅力化に関わる人材募集・派遣事業
- ・地域創生を学ぶ大学生と地域のコーディネート

(2) 起業・就業に係る支援制度等

○ 地域人材起業支援事業（県地域政策課）

- ・ 地域おこし協力隊の定住促進と地域等の活性化を図るため、地域おこし協力隊（OB・OG 含む）が県内で起業又は事業継承するための経費を支援する。

募集時期 4月  
 対象経費 設備・備品費、知的財産登録費 等  
 採用枠 5件程度  
 補助率 1/2以内（市町補助額に対し）  
 補助限度額 50万円

○ 学校・家庭・地域連携推進事業（市町等）

- ・ 市町が、コミュニティ・スクールの導入に伴って新たな拠点で実施する地域学校協働活動の経費のうち、1/3を県が補助事業として負担するもの。

「地域学校協働活動推進員」

有償ボランティア（時間当たりの謝金）

ボランティア調整・協働活動の運営

補助要綱上の役割

学校単位、中学校区単位で活動

○ えひめ暮らしネットワーク(一般社団法人)

- ・ 愛媛県内の現役隊員OB・OG等が情報を共有できる場を構築し連帯強化を図ることで、「人が人を呼ぶ好循環」を全県的に生み出していくことを目指し、えひめ移住コンシェルジュ（県集落支援員）及び地域おこし協力隊OB・OGにより、令和2年に設立された。

具体的な活動実績 地域おこし協力隊の定着促進、地域版移住コンシェルジュ、えひめ暮らし仕事体験の実施、テレワーク移住者の誘致促進

## 7 令和3年度事業説明会、研修会を終えて

### 市町等対象事業説明会 (R3.5.12)

#### 【市町担当者から】

- ◎ 松野町の事例発表が大変素晴らしく、参考となった。事業実施について具体的なイメージが湧く研修であり、次回も参加したいと感じた。
- ◎ 地域おこし協力隊の担当部署（市長部局）と、密に連携をとりながら進めていかなければいけない事業だと思う。
- ◎ 地域の課題を可視化できるよう IoT 技術を活用して教育にその分野を取り入れる取組、子どもたち自身に松野町をどのようなまちにしていきたいかを考えてもらう取組、俳句という地域の特色を生かした取組、特産品づくり、地域住民の活動拠点づくりなど、多くの事業を通して、子どもたちを含めた住民が一体となって地域のために考え、動き、住んでいるまちを大切にしており、住民の成長にもつながる取組だと感じた。

#### 【地域おこし協力隊から】

- ◎ 説明会前は地域教育プロデューサーということで敷居が高いというか固いイメージがあったが、事例発表を聞いて、自由な発想で全体の人間力を高められるような取組を行い、自分の居場所もつくることができればよい、ということが分かりやすく説明されていて大変参考になった。

令和3年度「地域教育プロデューサー配置支援事業」  
市町等対象事業説明会 事例発表

### 学びを切り口に ～松野町地域おこし協力隊の場合～

松野町ふるさと創生課長	井上 靖 氏
不器男記念館プロデューサー (元松野町地域おこし協力隊)	川嶋 健佑 氏
松野町地域おこし協力隊	六車 浩二 氏



### 令和3年度第1回ステップアップ研修会 (R3.6.29)

#### 【市町担当者から】

- ◎ 本市において教育分野での地域おこし協力隊が、どのような活動を求められているかを模索するため、研修会に参加していきたい。
- ◎ 小中学校や公民館ほか社会教育関係団体において、今後の事業計画や業務の見直しの中で、地域教育プロデューサーの活用を検討できればと思う。
- ◎ 地域の専門人材を生かして、子どもたちのキャリア教育にまでつなげていることが素晴らしいと感じた。
- ◎ 地域おこし協力隊の活動を生業として続けていける発想力・行動力は見事なものだと感心した。地元の小中学生に対して、こういった方が社会教育の一環として講義をすることは、児童・生徒の経験としても有意義なものになると感じた。

#### 【地域おこし協力隊から】

- ◎ 本事業において、学校内部の教育活動のフォローに留まらず、地域の現状や各校の個別課題に応じて、運営や存続などのフォローも職務範囲としていただければ、多種多様な課題により柔軟に対応していただけるのではと期待している。

#### 【学校関係者から】

- ◎ 講演と情報交換会で、教頭先生だけでなく、学校事務職員も地域教育プロデューサーと組むことで、学内外のヒューマンリソースの配分や人材活用を仕掛けていく仕組みができそうだと感じた。

第1回地域教育プロデューサーステップアップ研修会  
及び第1回情報交換会 講演

### 教育に携わる地域おこし協力隊 の可能性について

株式会社置田林幸代表取締役 (元内子町地域おこし協力隊)	武田 惇爽 氏	一般社団法人えひめ暮らしネットワーク代表理事 えひめ移住コンシェルジュ	板垣 義男 氏
---------------------------------	---------	--	---------



## 令和3年度第2回ステップアップ研修会 (R3.9.14)

### 【市町担当者から】

- ◎ 今回現役隊員さんにも参加いただいたので、今後ミッションに取り組む中、教育を組み合わせた活動で活躍することを期待している。社会教育側から地域性のある学習支援が検討できないか、引き続き、公民館や図書館などそれぞれの担当が研修会に参加してもらえるよう働きかけたい。

### 【地域おこし協力隊から】

- ◎ 高校魅力化コーディネーターや公営塾のような仕組みは、学校の魅力化や地域や世界に開かれた教育活動を、学校とは別枠の組織として継続性をもって実現できる素晴らしい制度だと思う。
- ◎ 隠岐島前高校での魅力化構想について知ることができた。大きな成果とともに、その背景には多大な苦労があったのだと思う。また、教育に関わる地域おこし隊の存在について知ることができた。

### 【学校関係者から】

- ◎ もっと話を聞いてみたい、いろいろな人とつながりたい、という気持ちが強まった。ぜひこういった機会をまた提供していただきたい。
- ◎ 「学校と地域の連携」に関することは、今後の学校運営方法や愛媛県全体にとって大切なテーマだと考えている。学校関係者が多く参加できる研修にしてもらいたいと思うとともに、その地域の地域おこし協力隊と学校関係者が結びつくような場になればと感じた。

第2回地域教育プロデューサーステップアップ研修会  
講演  
社会に開かれた教育課程と高校を核とした地方創生の実現を目指して

一般財団法人  
地域・教育魅力化プラットフォーム  
元島根県海士町地域おこし協力隊  
奥田 麻依子 氏

## 令和3年度第2回ステップアップ研修会 (R4.3.3)

### 【市町担当者から】

- ◎ 幼い頃から地域の人たちが関わるということが、郷土を愛する心・自己肯定感を高めるということを改めて認識させられた講演だった。うらほろスタイルの事例は、とても参考になった。
- ◎ 単発の事業で終わるのではなく、次につなげて連携を広げていくことが上手くできていると感じた。事業の参加者が数年後に地元に戻ってきて子どもたちのために事業にかかわっていく形が良い循環を生んでいると感じた。

### 【地域おこし協力隊から】

- ◎ 地域の資源を生かして教育につなげている「うらほろスタイル」は、現在探求の授業のプログラムを考えているので非常に興味深く感じた。また、小学校から中学校までの段階的な教育目標とプログラムがきちんと組まれていること、その前提があるのがとても大きいと感じた。
- ◎ 地域と学校の連携に対して、どうやって信頼関係をつくっていけばよいのか参考になった。

### 【学校関係者から】

- ◎ 学校運営協議会の活動を地域はもちろん、行政関係とどのようにつながられるのか、具体的な取組を知ることができた。今後の持続的な活動につなげられればと考えている。

第3回地域教育プロデューサーステップアップ研修会  
講演  
地域おこし協力隊による  
「教育」×「地域づくり」の追求

浦幌町まちづくり政策課  
浦幌町地域おこし協力隊うらほろスタイル担当  
古賀 詠風 氏

NPO法人うらほろスタイルサポート  
理事、うらほろスタイル推進事業コーディネーター  
本間 悠資 氏

## 8 本事業により期待される効果

### (1) 子どもたちへの直接的な効果

- ・ 公営塾やえひめ未来塾、放課後子ども教室、学校の総合的な学習の時間へのかかわりにより、子どもたちの学びの機会が増加する。
- ・ 「教育による地方創生」に取り組み、成果を上げる若者と間近に接する機会を得ることで、子どもたちの学びに向かう意欲が向上する。
- ・ 地域住民を巻き込んだダイナミックな地域教育を受けた子どもたちが、地元への愛着を深め、地元へ回帰する人材となる。



## (2) 地域教育関係者の意識・行動変容

- ・ 地域教育プロデューサー等のコーディネートにより、多様な主体が有機的に結び付き、地域の教育力の向上につながる。
- ・ 住民の主体的な教育活動への参加と子どもたちの地域活動への貢献のサイクルが生まれ、地域が活性化する。
- ・ 教育の魅力化が進む地域への若い世代や子育て世帯の移住が促進されれば、地域の維持・活性化につながる。

## (3) 地域教育プロデューサー等の資質・能力向上

- ・ 地域教育の魅力化による地域創生に興味を持つ全国の若者にアピールでき、優秀な人材の獲得につながる。
- ・ 全国的に著名な講師や他県で成功している同様の人材を招聘した研修会が可能になり、ノウハウ獲得や課題解決が短時間で効果的にできる。
- ・ 地域教育プロデューサー等同士、他の教育実践者とのネットワークが構築され、地域における事業展開が広がる。

## (4) 教育分野の起業による地方創生

- ・ 地域教育プロデューサー配置支援事業を活用し、教育分野の起業を成し遂げることで、新たな産業が創出される。
- ・ 教育を生業とした若者の移住の成功モデルが増えることで、教育の活性化と若者の定住という好循環が生まれる。